

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 8月14日 更新

事務事業名		自衛隊父兄会運営支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	中村誓丞
	施策	1	危機管理・防災対策の推進			所属課	総務課	担当者名	森田健二
	基本事業	4	危機管理対策の推進			所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217
予算科目		会計一般	款2	項1	目1	事業連番10323	法令根拠	全国自衛隊父兄会合志市支部事業補助金交付要綱 成果優先度評価結果：⑫ コスト削減優先度評価結果：⑥	
終了、開始年度		☐ 25年度で終了 ☐ 25年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	会員相互の緊密な連携と協調を保ち、団結して自衛隊の健全な発展に協力・支援するとともに熊本県自衛隊父兄会の基本単位として拡勢に努めた。 (自衛隊父兄会は昭和30年代、自衛隊員を子弟に持つ父兄が「自衛隊員の心の支えになりたい」という親心から自然発生的に全国各地で結成された組織。昭和51年に「(社)全国自衛隊父兄会」、平成24年4月より「(公社)全国自衛隊父兄会」として認定される。合併により、合志町支部と西合志町支部が合併された。)
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	また、自衛官募集事務をより効率的・効果的に遂行するため、父兄会との連携を図る。 平成25年度実施優先度評価会議において、平成26年度から政策1-施策1-基本事業2に移管し、10321自衛官募集事務と事業統合し「自衛隊支援事業」と名称を改めることとした。
【業務の流れ】	自衛隊父兄会事務局事務 1. 補助金交付申請 2. 会長(役員)との連絡調整 3. 役員会開催、総会開催 4. 会議参加
【主な予算費目】	負担金(補助金)
【意見や要望】	平成25年度「合志市事務事業検証会」で本事業は「民間・市民による実施」と判定される。 26年度の方針性として、事務局を父兄会へ移管し、自主運営をしていただくよう打診している。ただ、自衛官募集事務の関係で完全に切り離すことは出来ないため、一部事務の支援は必要だと考える。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)		26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
合志市地区会の事務局として支援を行った。併せて、平成26年度より事務局を会で運営していくよう協議を行った。		事務局を父兄会へ移管し、自主運営していただく補助金の支出・一部事務の支援
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 総会回数	回	事務局移管に伴う職員時間外手当の減
→ イ 役員会回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
自衛隊父兄会支部-H25年度より「公益社団法人全国自衛隊父兄会熊本県自衛隊父兄会合志市地区会」に名称変更	回・人	→ ア 総会回数(～25年度まで) 父兄会会員数(26年度～)
	回	→ イ 役員会回数(～25年度まで)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
自主的な会議を開催することで、会員相互の緊密な連携と協調を保ち、団結して自衛隊の健全な発展に協力・支援することができる。(～25年度まで)	回	→ ア 自主的な会議の開催回数(～25年度まで)
父兄会の活動の活性化を図る。(26年度～)	人	→ イ 新しく父兄会に入会した人数(26年度～)
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画～年度
自主的な会議を開催することで、会員相互の緊密な連携と協調を保ち、団結して自衛隊の健全な発展に協力・支援することができる。(～25年度まで)		0
新しく父兄が入会する事で会の活性化ができ、自衛隊募集事務の効率的・効果的な支援が出来る。(26年度～)		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込
投 入 費 用 量	事業費	① 活動指標	ア 回	1	1	1	1	1	1	1
		イ 回	2	2	2	2	2	2	2	2
		② 対象指標	ア 回・人	1	1	1	1	117	122	127
		イ 回	2	2	2	2	0	0	0	0
		③ 成果指標	ア 回	2	1	2	1	0	0	0
		イ 人	0	0	0	0	5	5	5	5
	経費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	87	104	106	102	91	80	80
		(A) 事業費計	千円	87	104	106	102	91	80	80
		(A)のうち指定経費	千円	0	24	26	22	11	0	0
	人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	24	26	22	11	0	0
		正規職員従事人数	人	6	4	4	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	85	55	85	60	85	85	0
	トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計	千円	343	223	346	239	346	346	0
			千円	430	327	452	341	437	426	80

事務事業名	自衛隊父兄会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は25年度的事後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 会の円滑な運営を行っており目標を達成した	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 父兄会が自主運営を行っても同等の効果があると思われ達成の見込みあり	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 役員の意識改革により自主運営を目指すようにする	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 (事業連番10321) 自衛隊募集事務へ統合することが出来る。	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 補助金については、近隣自治体の状況に合わせ、見直しもしくは廃止が適当であると考え。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 会計は会に返しているが、総会等の資料作成、お金の取扱（集金預かり）を行っており、自主運営とすることで、業務時間を削減できる。	☐ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 法令に基づいて市が行っている事務事業ではなく、自衛隊員の父兄の組織なので、他団体との均衡がとれない。市が事業を行うことは見直し余地がある。	☐ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 26年度より事務局を父兄会へ移管し、自主運営していただくよう依頼する。	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

法令に基づいて市が行っている事務事業ではなく、自衛隊父兄会員のみで十分対応できる事業である。事務事業検証会の結果を踏まえ26年度より自主運営していただくよう依頼する。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☒ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

事務局を父兄会で行うことで業務時間を削減できる。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

事務局移管に伴う父兄会会則の変更を総会に諮る必要がある。
平成26年5月24日総会開催